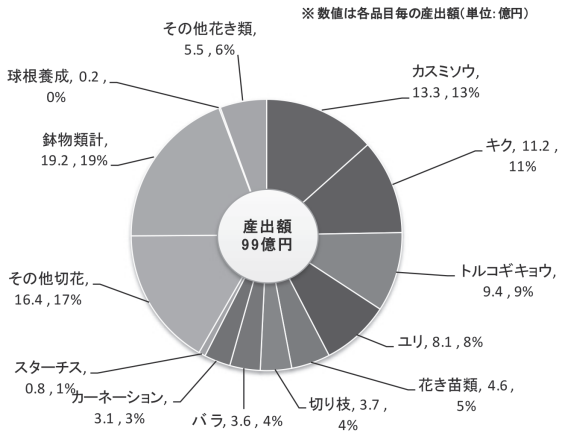
3－6 作物別生産状況 （5）花き

○本県の花きは天草など冬期温暖な海岸地域から熊本、菊池、鹿本、八代等の平坦地域や阿蘇等の夏期冷涼な高原地域まで多岐にわたる立地条件を生かして、宿根カスミソウ、トルコギキョウ、カラー、キク、バラ、リンドウ、洋ラン鉢物等の産地化が図られています。

花き産出額（Ｈ２６年）



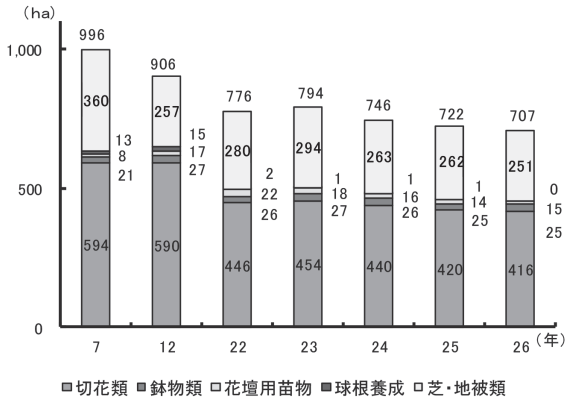
（資料）農新水産省「花き生産出荷統計」

主要品目での取組

＜宿根カスミソウ＞　　出荷量　全国１位

10 月～6 月までの長期安定出荷と需要期（年末、母の日など）に向けた計画出荷に取り組んでいます。

花き作付面積の推移

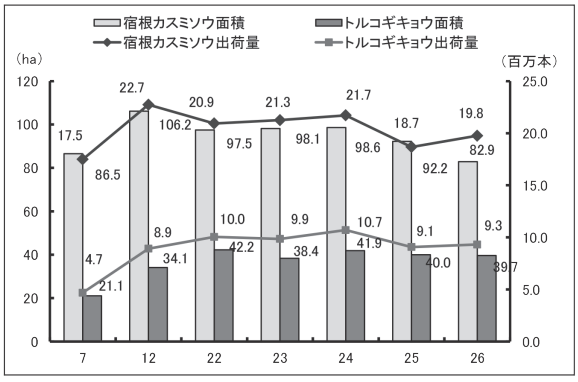


（資料）県農林水産部「花き生産実績」

＜トルコギキョウ＞　　出荷量　全国２位

日持ちの良いトルコギキョウの周年供給に取り組んでいます。

県産花き主要品目の作付面積と出荷量



（資料）県農林水産部「花き生産実績」

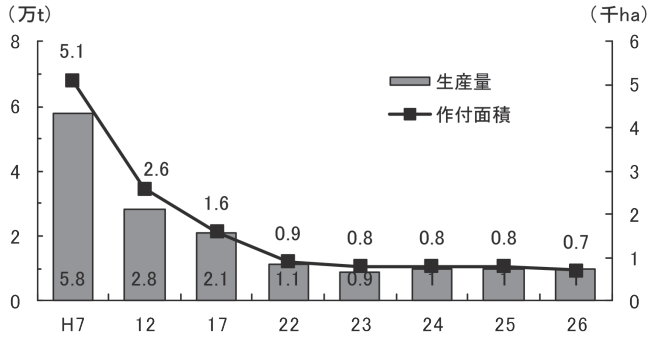
＜湿地性カラー＞　　出荷量　全国２位

県オリジナル品種「ホワイトトーチ」「ホワイトスワン」の産地化に取り組んでいます。

3－6　作物別生産状況　（6）工芸作物

○ 本県のいぐさは、全国生産量の９割以上を占め、特に八代地域農業の重要な作物となっています。住宅の洋風化や景気低迷による畳表の国内需要の減少や中国産畳表の輸入の影響を受けて、作付面積は減少傾向にあります。
○ 県では、県産畳表のブランド化を図るため、優良品種（「ひのみどり」「夕凪」「ひのはるか」「涼風」）の生産拡大と統一産地表示「くまもと畳表」の取り組みを支援しています。
【平成２６年農業産出額　工芸作物：119 億円（構成比 3.6%）、いぐさ：35 億円】

いぐさの生産状況

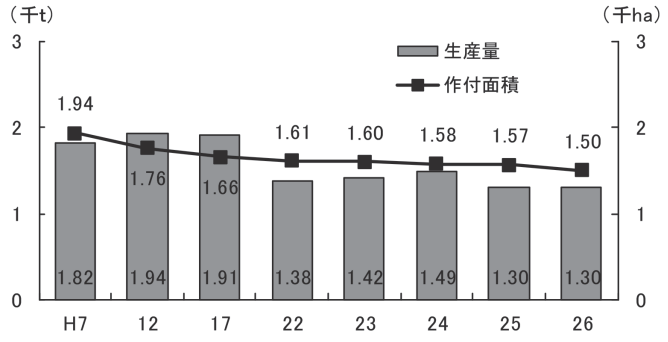


（資料）農林水産省「工芸農作物統計」

畳表に装着されたＱＲコード付きタグ

○ 本県の茶は、中山間地域を中心に県下各地で栽培され、煎茶、むし製玉緑茶、釜炒り茶の３茶種が生産されています。生産量は１，３００ｔで全国第 9 位ですが、玉緑茶に限れば全国第１位の生産量（Ｈ２６年）となっています。ここ数年は栽培面積、生産量とも減少傾向にあります。
【茶（生葉）：11 億円】

茶の生産状況

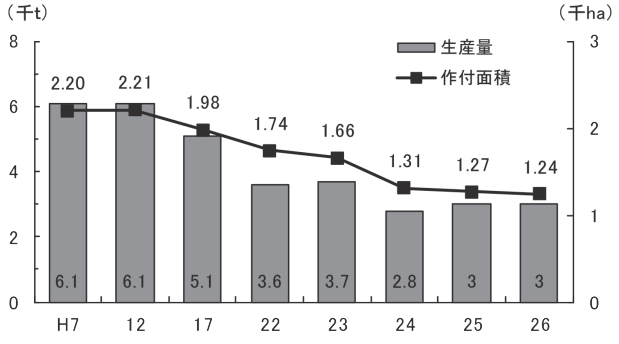


（資料）農林水産省「工芸農作物統計」

大規模集団茶園

○ 本県の葉たばこは、平坦地域から中山間地域まで県内各地で栽培されており、栽培面積、生産量及び販売代金は全国１位（Ｈ２６年）となっています。近年は喫煙者が減少しているため、栽培面積は減少傾向にあります。　【葉たばこ：71 億円】

葉たばこの生産状況



（資料）日本たばこ産業(株)「葉たばこ生産統計表」

ＡＰ－１による収穫作業